



令和3年度 第6回共同機構研修会 令和3年8月5日(木) 二

## 第5期研究プロジェクト 第1回報告会 を開催しました



研究プロジェクトメンバーから

長坂 由美 壬生保育所 藤井 輝 南保育所 田中 康雄 光明幼稚園 向瀬 麻由佳 みつば幼稚園 川崎 哲兵 下京雅小学校

メンバーのパネルディスカッションでは、保幼小の先生方が実践事例を通して研究してきた中で「私たちが大切にしたい心の育ちとは何か」と語り合ってきた中での気づきや学びについて熱く語られました。

子どもと相対する私（先生）がどう感じて、どう受け止めているのか。そのときの心のあり様のようなものが大切なのだと思う。（幼）

行為や行動だけではなく、内面的な成長に思いを寄せられるようになった。（小）

語り合うことで理解し合ってきたことを実感した。（幼）

今では、保育者も学校教諭も子どもの心を大切にできる気持ちは同じ、心でつながっていると感じる。（保）

子どもを真ん中にして語り合うのはなにより楽しい。（保）

様々な先生と出会い、信頼できる関係が築かれ、安心感に包まれることで自分の思いを語る事ができた。これは子どもも同じだと思う。（小）

## 保幼小連携・接続 語り合いから始めよう

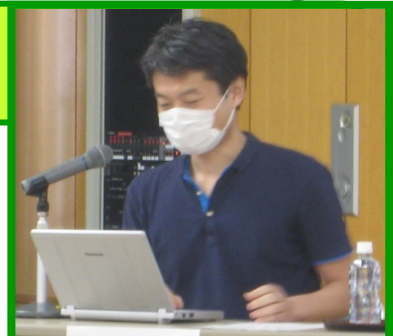


研究アドバイザーからは、心の育ちとは？主体性とは？真の意味で主体性を育む実践とはどんなものか？について、研究プロジェクトから講義くださいました。

園の先生と小学校の先生が語り合うことで、それぞれの保育・教育が変わり、子どもたちがより楽しく自己発揮し自信をもって生活したり、学習したりできると思いました。（園）



今回のお話を通して、私が思う「心の育ち」というのは、「子どもの良さを引き出すこと」と「人の多様性を認めることができる豊かな心を育てること」だと思いました。（小）



研究アドバイザー  
大倉 得史 京都大学大学院教授

受講者のアンケートより

# 明日にいかす エピソード検討会にしよう

第7回共同機構研修会は緊急事態宣言下で中止としておりましたが、  
研修内容を動画撮影し、研修会として配信予定です

お楽しみに！

## 申込方法 いつもと違います

ホームページからの申込  完了後 メールでの申込

研修会は1月下旬を予定しています。詳しくは通知文，チラシにてご確認ください。

## 研修内容

### 第5期研究プロジェクトメンバーによる報告会

プロジェクトに参加して、子どもの見方が変わった

見方が変わると関わりも変わる



実際にエピソード検討会もやってみました！

大倉得史教授  
(京都大学大学院)  
による講義



なぜエピソードを書き検討するのか？

エピソード検討をどう実践にいかすのか？

エピソード記述及び検討会の意義が、きちんと理解できる講義内容。  
大倉先生による、メンバーの検討会での発言の解説は必見です！

子どもを育む喜びを感じ、  
親も育ち学べる取組を進めます。

[京都はぐくみ憲章]より



この印刷物が  
不要になれば  
「雑がみ」として  
古紙回収等へ！



発行日 令和3年11月8日  
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館  
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1  
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909  
URL : <https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/>